

## 5章1節4 世界史B「大航海時代」

授業者：坂田 匡史 通年 2年生全クラス

本質的な問い	結局、大航海時代は何をもたらしたか。		
達成目標	<b>①</b> なぜ、大航海時代が始まったかについて説明することができる。 <b>②</b> 大航海時代の推移を踏まえて、その影響を述べることができる。		
論点 (深めるために)	本時では「大航海時代の影響」について、特にウォーラステインの「近代世界システム論」を題材に世界の一体化について考察させる。新大陸の「発見」や新航路の開拓により西ヨーロッパを中心とする世界経済圏が形成されていったが、世界の一体化の「はじまり」ははたして大航海時代と言えるのかについて考察する。		
実践の振り返り	<b>①</b> 各地域の諸世界の存在や海域市場への参入という生徒にとって難しい概念を扱ったことで、難しさを感じるようであった。 <b>②</b> 世界の一体化の起源について、近代システム論を軸に考察できた。		
問いの構造化			
	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	<b>①</b> 大航海時代はヨーロッパにどのような影響をもたらしたか。 <b>②</b> 大航海時代はアメリカ大陸にどのような影響をもたらしたか。	<b>③</b> ガマの航海はどのようにしてカリカットに到達したか。	
洞察を促す問い	<b>⑥</b> 近代世界システム論とは何か。 <b>⑦</b> では、なぜ洋服や個人の自由や資本主義といった西洋起源の文化や考え方が世界のスタンダードとなっているのであろうか。	<b>④</b> ガマのカリカット到達や日本への鉄砲伝来は、ポルトガル人だけ実現可能な行動であったか。	
本質的な問い		<b>⑤</b> モンゴル帝国の交易ネットワークや明の海域世界は、大航海時代と言えるか。	<b>⑧</b> ポルトガルやスペインの新航路の開拓は、世界の一体化にどの程度影響を与えたか。
生徒の変容 (ICE ループリック)			
	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	・大航海時代の影響について説明することができた。	・大航海時代の影響について、近代世界システム論と関連付けることができた。	・大航海時代の影響や意義について、史実に即して、自らの考察を論じることができた。
教科・科目に特有の見方・考え方	・大航海時代の影響や意義について、史実に即してヨーロッパ側の視点だけでなく、諸地域との関わりの視点を持つことができた。	・大航海時代の影響や意義について、史実に即して自己の立場を明らかにすることができた。	・大航海時代の影響や意義について、史実に即して歴史像を描くことができた。
汎用的な能力	・史実に即して、大航海時代について定義することができた。	・史実に即して、大航海時代の影響について構造的に解釈することができた。	・史実に即して、大航海時代について再構成することができた。